

【社会学専攻】

<教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）>

社会学専攻は、以下のような方針に基づき、教育課程を編成・実施する。

1. 社会学、社会心理学、文化人類学における主要な学説についての基礎的な知識の習得を確実にするための科目を置き、3年次以降の学習の基盤を形成させる。
2. 人間、社会、文化の諸事象に関する社会学、社会心理学、文化人類学からの学問的成果を修得するための幅広い科目を置き、3つの学問に対する個別的学习のみならず、2つ以上の学問分野の融合的な理解を導いていく。
3. 人間、社会、文化の諸事象に関する様々な資料を収集・整理・分析・解釈するための妥当で信頼できる方法および技法が学べる科目を置き、自ら立てた問いを実証的に探求できる力を育てる。
4. 卒業論文コースとして、3年次と4年次においては、より限定的な領域における具体的な問題をめぐり、対話的、実習的、実践的に学習できる演習科目を置き、卒業論文の作成を支援していく。また、卒業試験コースの学生に対しては、4年次において、特定の専門領域を自覚的に選び、それを自らの専門として主張できるよう、一定基準以上の知識および活用能力を担保できる履修指導を行っていく。

